

令和7年度 墨田区立文花中学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 遠藤 博則

学校教育目標	「チーム文花中として、生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばし、社会に貢献できる生徒を育む学校」を目指す。
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力が身に付く学校 ・一人1台のタブレット端末やICT機器の効果的な活用により、教育DXを推進する学校 ・人権を尊重し、夜間学級との交流など、多様な文化の理解を積極的に推進する学校 ・チーム文花中として、学校・家庭・地域が力を合わせ共に歩む学校
目指す生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重し、自他を大切にしている生徒 ・毎日の授業や家庭学習を大切に、自ら学び・考える生徒 ・心身共に健康で、文武両道を目指し、何事にも粘り強く取り組む生徒 ・国際社会の一員として、社会に貢献できる生徒
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する教育的愛情と、教職に対する情熱・誇りをもち、協働できる教師 ・高い指導力をもち、生徒の生きる力（豊かな心、確かな学力、健康・体力）を伸ばせる教師 ・教育公務員として職責を自覚し、常に研鑽に励み、サービスの厳正を図ることができる教師

○令和7年度 学校経営計画における重点内容

- ・「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力が身に付く学習指導
- ・基本的な生活習慣の定着と豊かな人間関係を育成する生活指導（いじめ・不登校の対策強化）
- ・自主的な活動の促進と感動ある学校行事の創造
- ・保護者・地域に開かれた学校づくり

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
各教科指導等	「分かる」「できる」「楽しい」が実感でき、確かな学力が身に付く学びの実現 ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現 ②アウトプットとメタ認知による確実な定着 ③一人1台端末やICT機器の効果的な活用	①年3回の関連する研修、年2回の相互授業見学、年15回以上の指導教諭の模範授業見学と校内伝達研修による授業力向上	4 実施回数100%	4	4 生徒アンケート「授業は分かりやすいですか」の肯定的な回答90%以上	4	取組指標の内容は完全実施。成果指標のアンケートは94%。指導力向上の取り組み、生徒自身が意欲的に学びに取り組む力の育成が成果につながったと考える。	個別最適な学びの学習の個性化については、来年度予定している特色ある学校づくり推進校の研究等で継続して指導力を向上させる。	A	A	94%の分かりやすいとの回答、高みを目指してください。
			3 実施回数95%以上		3 生徒アンケート「授業は分かりやすいですか」の肯定的な回答85%以上						
			2 実施回数90%以上		2 生徒アンケート「授業は分かりやすいですか」の肯定的な回答80%以上						
			1 実施回数90%未満		1 生徒アンケート「授業は分かりやすいですか」の肯定的な回答80%未満						
		②毎時間のアウトプット、全校朝礼校長講話によるメタ認知的知識・モニタリング・コントロールの理解と実践	4 アウトプット実施95%以上	4	4 到達度テスト前年比+5p以上	2	取組指標の内容は完全実施。成果指標の到達度テストは、同一学年前年度比で+1.5pだった。	単元や1時間の授業で、生徒自身が学び方を計画し、実行、振り返り、改善するサイクルを回し、生徒自身の学びに向かう力を向上させていく。	B	A	区の学力調査で3学年の結果たとても良いので、学力が身につけていると認識しています。
			3 アウトプット実施90%以上		3 到達度テスト前年比+3p以上						
			2 アウトプット実施85%以上		2 到達度テスト前年比+1p以上						
			1 アウトプット実施85%未満		1 到達度テスト前年比+1p未満						
		③年10回以上の区等のICT研修受講と校内伝達による教員のスキル向上	4 実施回数10回以上	4	4 生徒アンケート「どのようなICT活用を行っていますか」の選択肢3つ以上の回答90%以上	1	「Kahoot!」などの教育用アプリ、語学での個別最適な学びの活用を反映するアンケート項目が無かったため成果指標が下がった。アンケートの改善を含め検討していく。	区・都などの研修受講奨励と校内伝達研修により、効果的なICT活用スキルを向上させていく。	A	A	先生方の日頃の取り組みに生徒たちも呼応して成果につながっていることと感じます。
			3 実施回数9回以上		3 生徒アンケート「どのようなICT活用を行っていますか」の選択肢3つ以上の回答85%以上						
			2 実施回数8回以上		2 生徒アンケート「どのようなICT活用を行っていますか」の選択肢3つ以上の回答80%以上						
			1 実施回数8回未満		1 生徒アンケート「どのようなICT活用を行っていますか」の選択肢3つ以上の回答80%未満						
自主的な活動の促進と感動ある学校行事の創造	「人は環境で育つ。その環境は人がつくる。」という共通認識のもと生徒会活動・学級活動・行事・部活動で自主的な活動を行い、自ら集団を改善する精神を育成する。	4 各行事で必ず実行委員による自主的な活動を取り入れた	4	4 各行事生徒アンケート自主的な活動項目の肯定的な回答90%以上	4	学年が上がるごとに自主的な活動ができるようになり、満足度も高くなっている。	今後も運動会、文花祭（文化祭）、宿泊行事等で生徒が自ら考え行動する場面を作っていく。	A	A	学校のイベントに積極的に取り組む姿は逞しさを感じます。	
		3 各行事で95%以上実行委員による自主的な活動を取り入れた		3 各行事生徒アンケート自主的な活動項目の肯定的な回答85%以上							
		2 各行事で90%以上実行委員による自主的な活動を取り入れた		2 各行事生徒アンケート自主的な活動項目の肯定的な回答80%以上							
		1 各行事で90%未満しか実行委員による自主的な活動を取り入れられなかった		1 各行事生徒アンケート自主的な活動項目の肯定的な回答80%未満							

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
生活指導等	<p>基本的な生活習慣の定着と豊かな人間関係の育成</p> <p>①挨拶や身だしなみ、時間や約束を守る指導を充実し、社会のマナーやルールを理解・実践できる生徒の育成</p> <p>②すべての教育活動を通して、差別や偏見をなくし、自他の生命、人権を尊重する教育の推進</p>	<p>①文花中ブロック幼保小中一貫教育重点項目である挨拶運動の、校内掲示や朝の挨拶運動、小学校校門での挨拶運動による推進</p>	4	各挨拶運動実施100%	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	3	挨拶や身だしなみ、時間や約束を守る等のマナーやルールを守る指導が効果をあげられていると考える。	メディアリテラシーなどの時代に対応した指導を行っている。	A	A	落ち着いた学校生活の中で、豊かな心と自立心を育てていただけると良いと思います。
			3	各挨拶運動実施95%以上		3	関係者評価関連項目のA評価80%以上						
			2	各挨拶運動実施90%以上		2	関係者評価関連項目のA評価70%以上						
			1	各挨拶運動実施90%未満		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満						
	<p>②夜間学級との年2回の交流、タイ教員招聘プログラムの実施による多文化共生社会教育の実施</p>	<p>②夜間学級との年2回の交流、タイ教員招聘プログラムの実施による多文化共生社会教育の実施</p>	4	各交流の完全実施	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	3	道徳を中心に心を育てる教育を行い、その効果がある程度あらわれている。	アンケートの「分からない」回答が14%ある。教育活動の周知を図っていく。	A	A	大多数の生徒は達成できている認識です。
			3			3	関係者評価関連項目のA評価80%以上						
			2			2	関係者評価関連項目のA評価70%以上						
			1	各交流の一部未実施		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満						
<p>不登校・いじめ・問題行動の未然防止と適切な対応</p> <p>①不登校の未然防止と、意図的・計画的・組織的な対応による改善</p> <p>②いじめ・問題行動の未然防止と、意図的・計画的・組織的な対応による改善</p>	<p>①一人一役やグループエンカウンター等による心の居場所づくりと、SC・SSW・教育センター等との連携による組織的な対応による改善</p>	4	毎週の情報交換と月1のケース会議の完全実施	4	4	不登校出現率昨年比2%以上減	2	教員による組織的な支援で、昨年度比2人減を達成できた。しかし、出現率は約7.92%あり、令和6年度東京都の7.68%を少し上回っている。	一人1台端末の利用、外部機関の協力も得、組織的な支援を行い、減らしていく。	A	A	不登校の生徒がいるので高いレベルには達していない認識です。	
		3			3	不登校出現率昨年比1%以上減							
		2			2	不登校出現率昨年比1%未満減							
		1	毎週の情報交換と月1のケース会議の一部未実施		1	不登校出現率昨年以上							
	<p>②道徳を中心としたすべての教育活動での心の教育と、毎月はいじめ等に関するアンケートや教職員の観察による早期発見・即時対応・経過観察による改善</p>	<p>②道徳を中心としたすべての教育活動での心の教育と、毎月はいじめ等に関するアンケートや教職員の観察による早期発見・即時対応・経過観察による改善</p>	4	いじめ重大事故0	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	2	取組指標の内容の完全実施、いじめ見逃しゼロを目指した活動により、一定の効果をあげられている。	アンケートの「分からない」回答が14%ある。教育活動の周知を図っていく。	A	A	いじめ防止対策推進法の定義するいじめの広さに驚いた。
			3			3	関係者評価関連項目のA評価80%以上						
			2			2	関係者評価関連項目のA評価70%以上						
			1	いじめ重大事故発生		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満						
<p>経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営の実施</p>	<p>企画調整会議・職員会議・生活指導部会等を活用した全教職員からの主体的な改善と、管理職の分かりやすいビジョンの伝達による組織的な教育活動の実現</p>	4	教職員アンケート関連項目のA評価90%以上	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	2	組織的な教育活動は行われている。家庭・地域への周知が不足している。	引き続き、学校運営協議会や保護者会、ホームページ、各種通信等で周知を行っている。	B	B	引き続き教員の交代にも対応できる体制、仕組みづくりを行っていただきたいです。	
		3	教職員アンケート関連項目のA評価80%以上		3	関係者評価関連項目のA評価80%以上							
		2	教職員アンケート関連項目のA評価70%以上		2	関係者評価関連項目のA評価70%以上							
		1	教職員アンケート関連項目のA評価70%未満		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満							
	<p>各アンケートの活用による教育活動の改善</p>	<p>年2回の生徒・保護者・教職員・関係者アンケートを活用した教育活動の改善</p>	4	各アンケートの完全実施	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	2	アンケートを活かし、今年度は防寒着の改善を行った。	保護者アンケートの回答率が高くない。結果の分かりやすい提示や保護者会等での周知で回答率を上げていく。	B	B	
			3			3	関係者評価関連項目のA評価80%以上						
			2			2	関係者評価関連項目のA評価70%以上						
			1	各アンケートの一部未実施		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満						
<p>学校予算の有効活用や区教育委員会との連携による適切な教育活動環境の整備</p>	<p>年1回の施設点検等を活用した施設の改善と、効率的な予算活用による教育設備の改善</p>	4	教職員アンケート関連項目のA評価90%以上	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	2	要望していた体育館のwifi環境の整備が整い、体育や集会での一人1台端末の有効活用が実現した。同様に自転車専門の電子ロックが整備され、不審者対策が大きく向上した。	引き続き、よりよい学習環境と、安全で安心な生活環境を実現していく。	A	A		
		3	教職員アンケート関連項目のA評価80%以上		3	関係者評価関連項目のA評価80%以上							
		2	教職員アンケート関連項目のA評価70%以上		2	関係者評価関連項目のA評価70%以上							
		1	教職員アンケート関連項目のA評価70%未満		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満							

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
家庭・地域連携	教育方針・教育活動の積極的で分かりやすい周知による、保護者・地域の理解・協力の深化	保護者会・学校運営協議会・青少年育成委員会・文花中地区幼bブロック小中一貫教育協議会・各種おたより・学校ホームページ・COCOO等を活用した、積極的に分かりやすい周知	4	学校ホームページ閲覧回数昨年度比+10%以上	3	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	「分からない」の回答が3%と、学校の取組に関するものでは最も低い。対策が効果を上げていると考える。	引き続き、学校ホームページや各種通信、保護者会などで分かりやすい発信をしていく。	A	A	ホームページの「学校生活の様子」がとてもまめに更新されていて分かりやすい。
			3	学校ホームページ閲覧回数昨年度比+5%以上		3	関係者評価関連項目のA評価80%以上					
			2	学校ホームページ閲覧回数昨年度比+5%未満		2	関係者評価関連項目のA評価70%以上					
			1	学校ホームページ閲覧回数昨年度比減		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満					
	働き方改革も意識した、意図的・計画的・組織的なPTA・地域の活動参加	PTA・青少年育成委員会・地域の活動に、働き方改革も意識した、効果的な参加	4	教職員アンケート関連項目のA評価90%以上	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	保護者アンケートで「あてはまらない」の回答がゼロであったことから、PTAや地域への活動に協力的であることを理解していただいたと考える。	引き続き、働き方改革も意識した効果的な参加を図っていく。	A	A	「ふれあい祭り」への協力ありがとうございました。
			3	教職員アンケート関連項目のA評価80%以上		3	関係者評価関連項目のA評価80%以上					
			2	教職員アンケート関連項目のA評価70%以上		2	関係者評価関連項目のA評価70%以上					
			1	教職員アンケート関連項目のA評価70%未満		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満					
	文花中ブロック小学校3校・幼稚園・保育園との学びの連続性を図った教育活動の充実	年4回の協議会・授業参観を活用した情報共有と授業改善	4	教職員アンケート関連項目のA評価90%以上	4	4	関係者評価関連項目のA評価90%以上	文花中ブロックの各小学校、保育園との連携が図られていると考える。	不登校や支援を要する児童・生徒の情報共有を密にし、協働した教育を行っていく。	A	A	地域児童館とも連携していただきありがとうございます。
			3	教職員アンケート関連項目のA評価80%以上		3	関係者評価関連項目のA評価80%以上					
			2	教職員アンケート関連項目のA評価70%以上		2	関係者評価関連項目のA評価70%以上					
			1	教職員アンケート関連項目のA評価70%未満		1	関係者評価関連項目のA評価70%未満					

○令和7年度 学校経営報告のまとめ（総括）

・生徒アンケートの「自ら学ぶ意欲をもって授業に取り組んでいる」が約94%、保護者アンケートの「文花中の教育活動に満足している」が約91%の評価を得た。研修等での指導力向上、組織的・計画的な生徒への指導と支援、保護者・地域への学校ホームページ等での周知等が効果を一定の効果を上げていると考える。現在の取組を継続・改善し、非認知能力等の生徒の学びに向かう力の向上を目指していく。